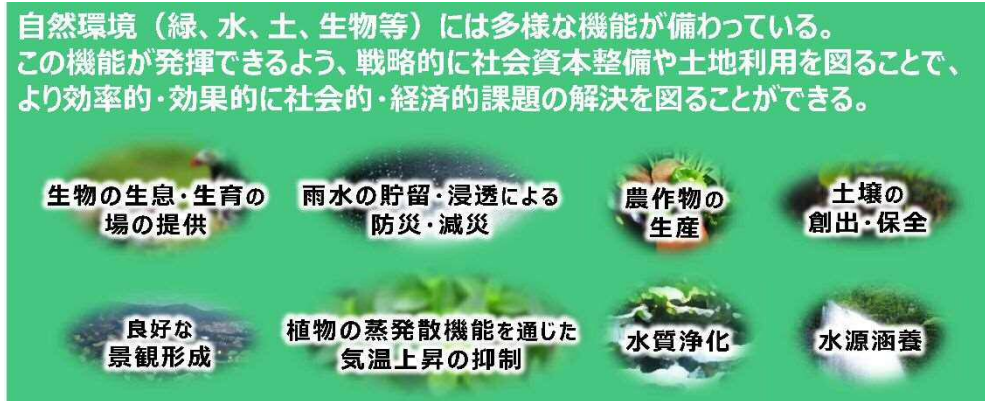


勝山公園におけるグリーンインフラの取組について

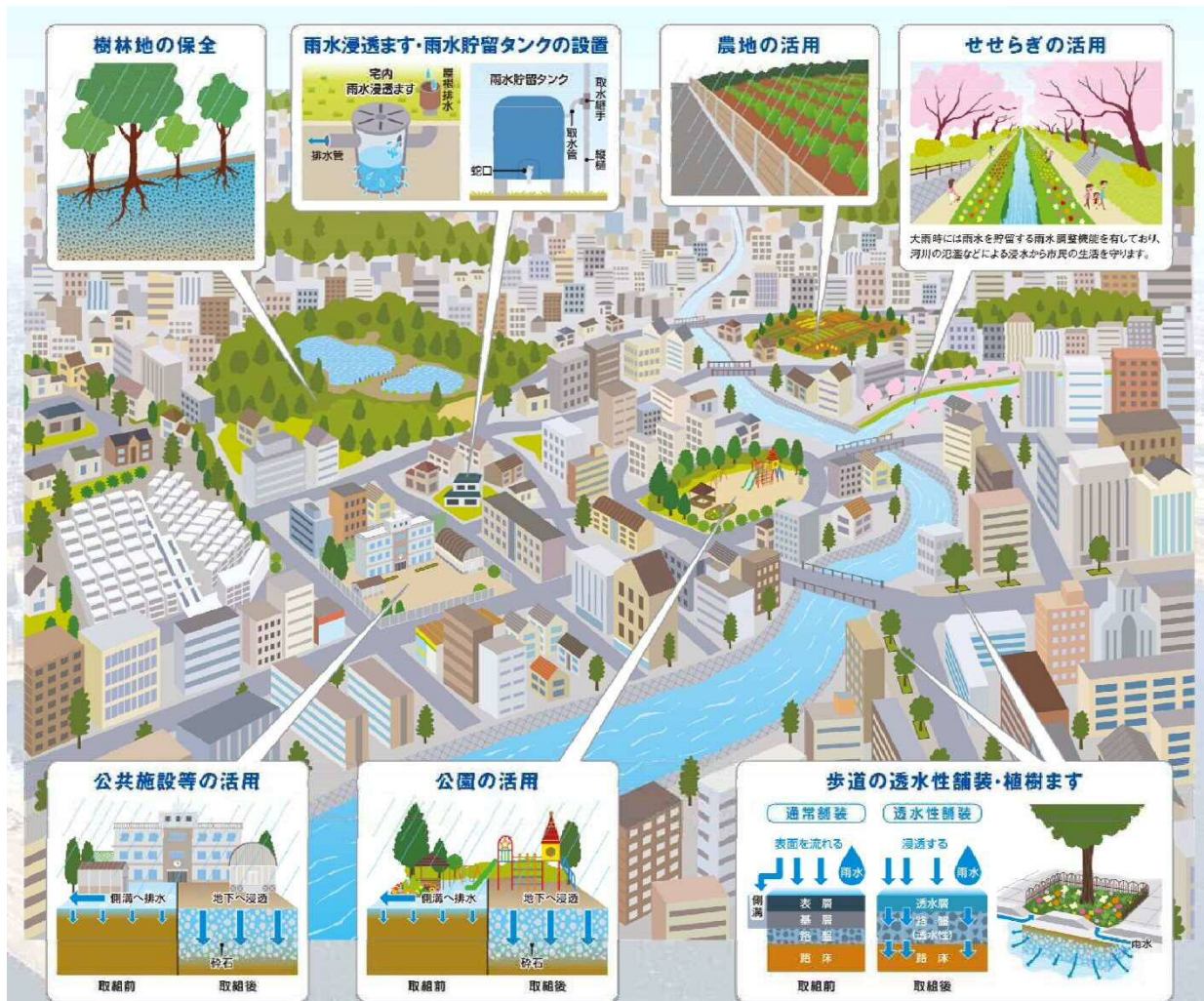
1 グリーンインフラとは

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組。



出典：国土交通省 HP

2 グリーンインフラの取組イメージ



出典：国土交通省 HP

3 本市の公園におけるグリーンインフラの取組

「北九州市緑の基本計画」に基づき、安全・安心の確保に向けて「グリーンインフラを活用したまちなかの防災・減災機能の強化」を図る。

4 勝山公園におけるグリーンインフラの取組

勝山公園は、本市のシンボル公園であり、都心のにぎわい創出と回遊性を高めるため「都心のオアシス空間」をテーマに整備(H16～H30)



◆良好な景観形成

河川空間と一体となった市民が憩えるオープンスペースや風格のあるイチョウ並木などを整備し、都心における良好な景観を形成している。



市民が憩える広場

◆雨水浸透による減災、気温上昇の抑制

大芝生広場や透水性舗装の整備により、雨水の流出を抑制するほか、都心部のヒートアイランド現象を緩和している。



透水性舗装

◆災害時の避難地・防災拠点

災害時の避難地のほか、緊急ヘリコプターによる物資輸送や災害用マンホールトイレなど、救援・復旧・復興活動の拠点としての機能を備えている。



災害用マンホールトイレ